

2026年3月期
第1四半期決算説明会資料

2025年8月14日(決算説明会は21日開催予定)
株式会社Smile Holdings
証券コード:7084

Smile Holdings

産後ケアホテル



Villa Mom

Order made postpartum care for mom and baby.

※2026年6月開園決定の産後ケアホテル”Villa Mom 東京・有明”の[ホームページ](#)

2025年冬、キッズガーデンプレップスクール麻布台ヒルズが グランドオープン決定！



- 今冬に麻布台ヒルズ(東京都港区)において、「キッズガーデン プレップスクール 麻布台ヒルズ(プレミアムスクール)」と「キッズガーデン エデュケーションラボ 麻布台ヒルズ(アフタースクール)」を開園いたします。
- 「0歳から9歳のチテキソウゾウの全部を」をキーコンセプトに、一人ひとりに寄り添い、教育の多様な選択肢をお届けすることで、お子さまの将来の可能性を広げ、才能をひらくお手伝いをいたします。

2026年6月、産後ケアホテル“Villa Mom 東京・有明”開業決定！



産後のお母様の心身の疲れや育児の不安を軽減・解消し、これから始まる新しい生活をサポートすることを目的として、産後ケアホテル Villa Mom(ヴィラママ) 東京・有明を2026年6月に開業いたします。

- 我が国では、核家族化や出産年齢の高齢化を背景に、産後、身近な人からサポートを受けられず、孤独や不安を感じている女性は少なくないと言われ、産後うつ割合も増えています。こうした中で、出産経験もしくは出産予定がある女性の産後ケアに対する認知度が高まってきており、今後の市場拡大が見込まれます。
- 当社グループは2009年の事業開始以降、東京・神奈川・愛知に80を超える保育施設を運営してきました。その中で大切にしてきたことは、一人ひとりの心の機微に寄り添い、「お家の次に安心できる場所」であることです。これまで、のべ数万のご家族と向き合い、様々な悩みごとに触れ、その解決のお手伝いをしてまいりました。
- その経験を活かしながら、産後ママの心身の疲れや負担、育児の不安や疑問を軽減・解消し、これから始まる新しい生活を前向きな気持ちで過ごしていただくための施設運営に取り組んで参ります。



※NEWS RELEASE「産後ケアホテル Villa Mom(ヴィラママ) 2026年6月、東京・有明に開業」

留学支援事業を3か国へ拡大、および観光庁長官登録旅行業第1種取得



- 2024年夏、第一弾の英国ボーディングスクール留学支援を実施し、好評をいただきました。これを受け、今夏は英国、スイス、米国(ハワイ)の3か国に拡大し、実施いたします。
- また、観光庁長官登録旅行業第1種を取得いたしました。これにより、これまで当社が運営する保育園「KIDS GARDEN」の在園児向けに提供してきた海外サマースクールや親子留学などの教育旅行プログラムを、広く一般の皆様にもご提供してまいります。



※NEWS RELEASE:観光庁長官登録旅行業第1種を取得！教育旅行事業を本格展開

売上高

33.9 億円

2.4億円増、107.7%
前年同期比

EBITDA

2.5 億円

0.2億円増、109.4%
前年同期比

営業利益

0.7 億円

0.3億円増、172.5%
前年同期比

当期純利益

0.6 億円

0.8億円増
(第1四半期より黒字化)
前年同期比

運営施設数

81 施設

前年同期比+2施設

※2024年10月1日よりグローバルスクール吉祥寺開園
※2025年4月1日よりグローバルスクールセンター北開園

児童数

5,236 人

99.0%
前年同期比

引き続き過去最高業績の更新を達成。事業領域拡大も積極推進中 業績

- 売上高は、第1四半期として過去最高
- EBITDA(営業利益+減価償却費)も、第1四半期として過去最高
- 営業利益も、第1四半期として過去最高(前期に引き続き第1四半期より黒字化達成)
- 当期純利益が第1四半期より黒字化達成(認可施設開設補助金減少後初)

新園・新規事業

- 2025年冬、キッズガーデンプレップスクール麻布台ヒルズが開園決定
- 2026年6月、産後ケアホテル”Villa Mom 東京・有明”が開業決定
- 留学支援事業の英国における第1弾が好評により、今夏は第2弾として英国、スイス、米国(ハワイ)にて実施
- 観光庁長官登録旅行業第1種を取得。今後広く留学支援や海外教育旅行プログラムを展開

既存事業好調により、売上高が前期超えを達成。

結果、営業利益、経常利益の大幅増加達成。当期純利益も黒字発進

認可保育園については保育サービスの充実により園児数が堅調に推移し高い充足率を維持。認可外保育園についても、幼児教育内容やイベントのさらなる充実等の高いサービス水準を維持する様々な施策が奏功し契約児童数が堅調に推移

(百万円)	2025年3月期1Q(前期)	2026年3月期1Q(当期)	増加額	増加率
売上高	3,151	3,393	242	7.7%
EBITDA	231	252	21	9.4%
営業利益	40	70	29	72.5%
経常利益	38	73	35	91.3%
当期純利益	-20	66	86	-
児童数(人)	5,275	5,236	-39	-0.7%

基幹事業である認可保育Gの売上が全体を牽引。積極投資を継続し

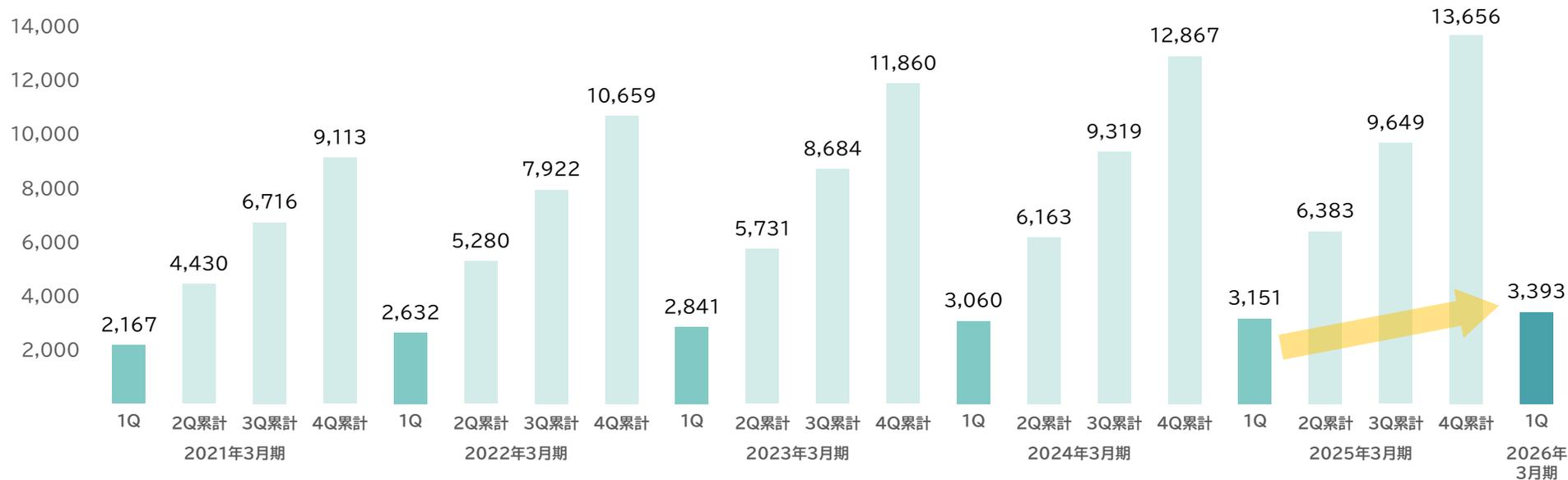
ながらも、年度予算超過ペースで進捗中

当社業績の季節性として下期偏重型であるが、各指標が既に約1/4を達成し、年度予算を超過ペースで進捗中

(百万円)			2026年3月期 通期予想	2026年3月期1Q 実績	進捗率
売上高			13,800	3,393	24.6%
	国内教育領域	認可保育グループ	11,800	2,945	25.0%
		プレミアム教育グループ	1,700	396	23.3%
	国際教育領域		200	51	25.5%
	産後ケア領域		0	0	-
	ファミリーサポート 領域		100	0	0.0%
EBITDA			1,050	252	24.0%
営業利益			350	70	20.0%
経常利益			370	73	19.7%
当期純利益			250	66	26.4%

通期として**過去最高更新**。上場以来連続的成長を実現

(百万円)

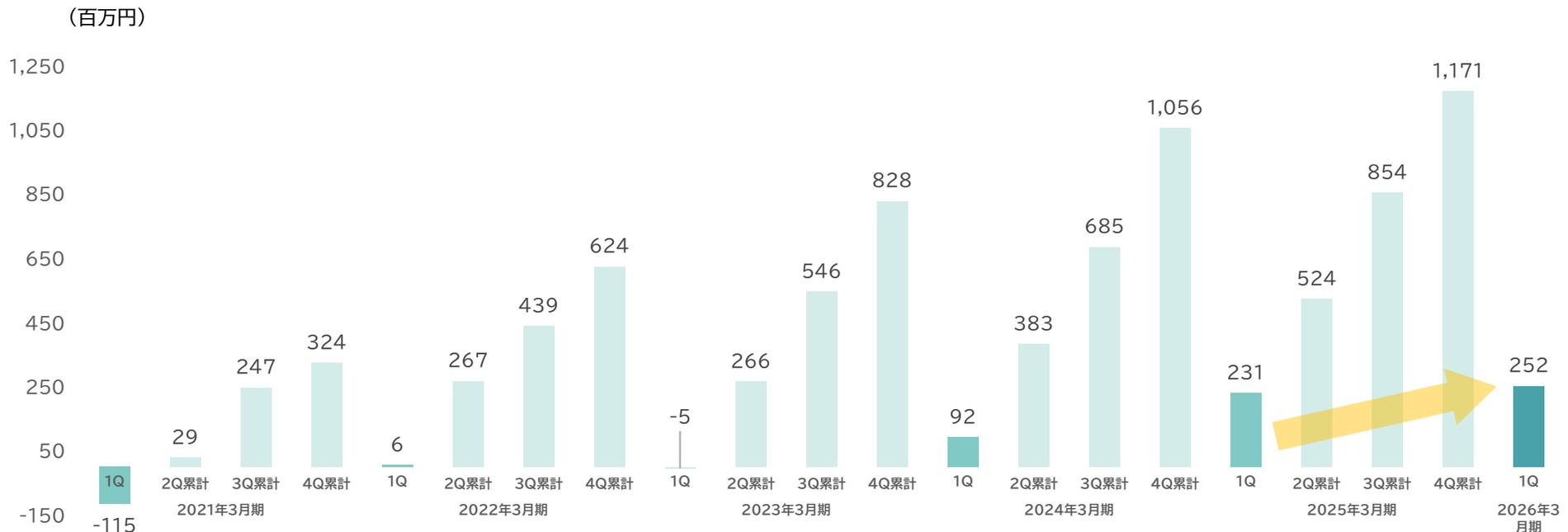


過去
最高

3,393 百万円

前年同期比 +242百万円(107.7%)

通期として**過去最高更新**。上場以来連続的成長を実現



過去
最高

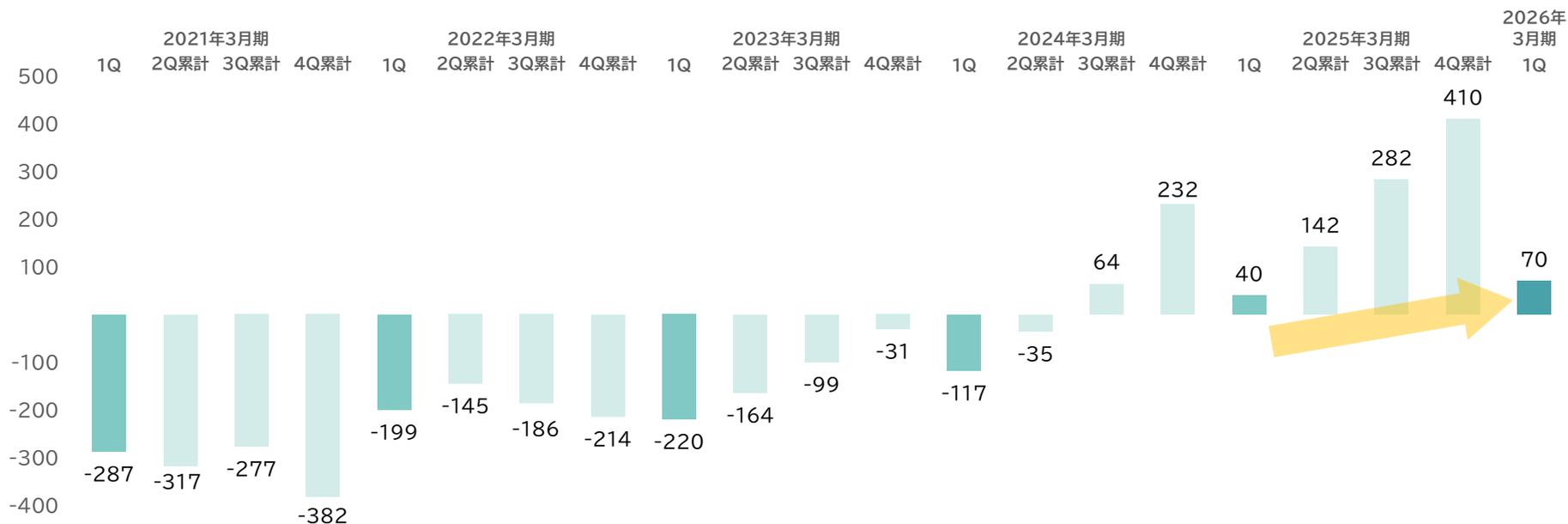
252 百万円

前年同期比 +21百万円(109.4%)

通期として過去最高更新。2期連続黒字発進達成

前期に引き続き、第1四半期より黒字化達成。力強い成長基調を維持

(百万円)

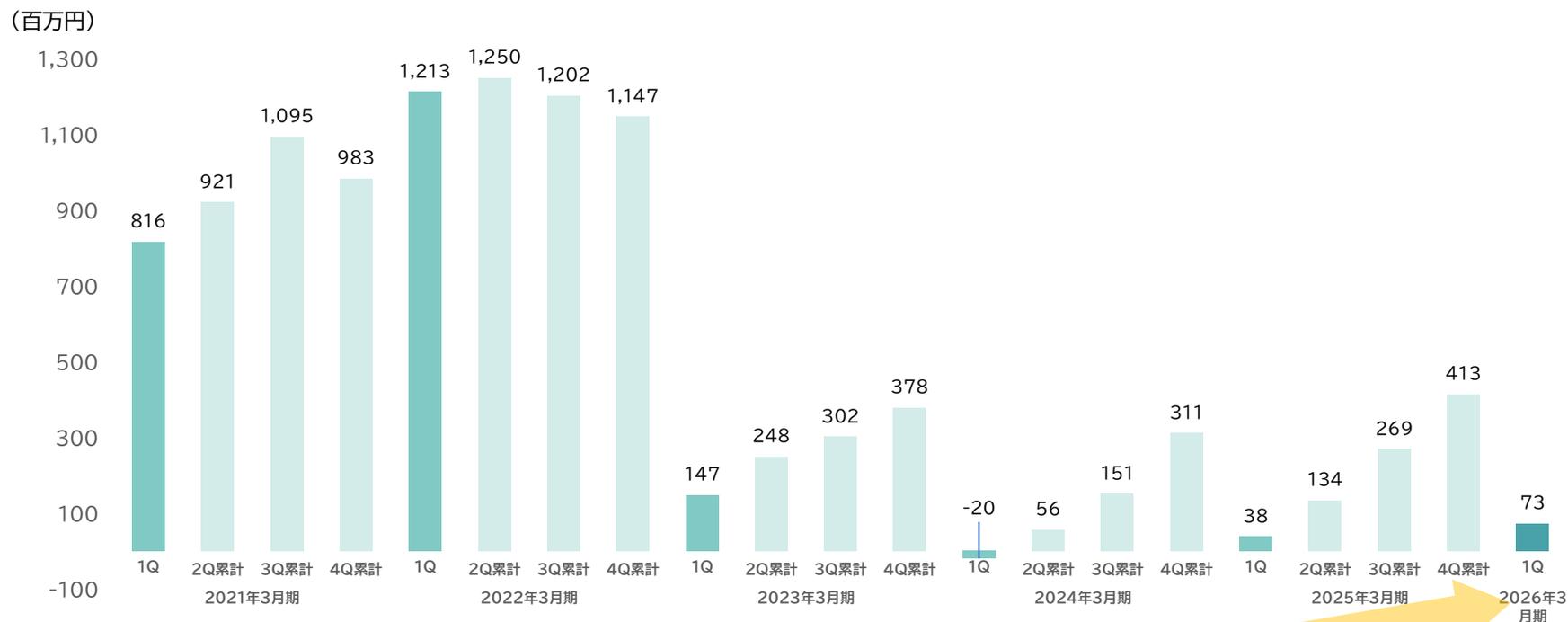


過去
最高

70 百万円

前年同期比 +30百万円(172.5%)

認可施設開設補助金の減少にも関わらず利益増加傾向



参考: 認可施設開設補助金(営業外収益)の推移

2021年3月期(通期): 1,391百万円

2022年3月期(通期): 1,418百万円

2023年3月期(通期): 419百万円

2024年3月期(通期): 100百万円

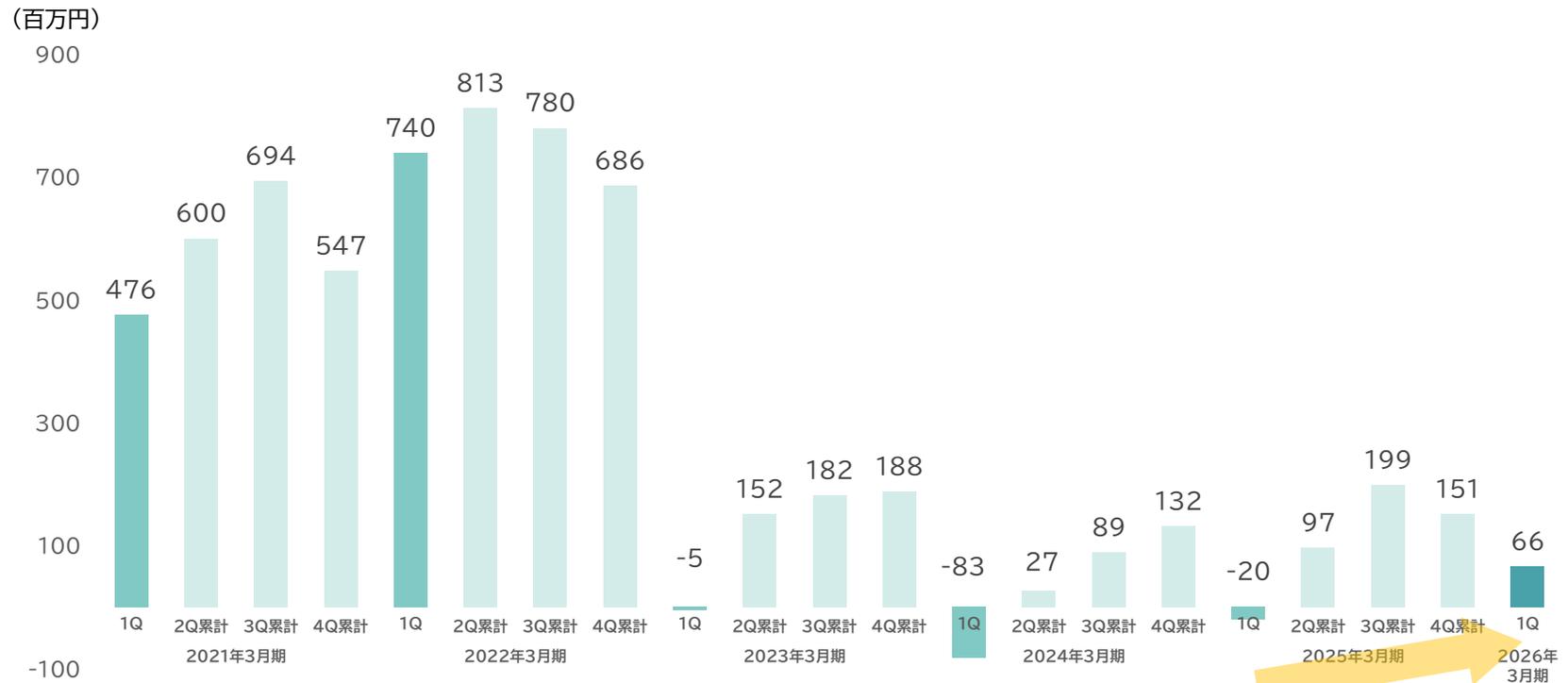
2025年3月期(通期): 0百万円

2026年3月期(1Q): 0百万円

73 百万円

前年同期比 +35百万円(191.3%)

認可施設開設補助金減少後初、第1四半期より黒字化達成



66 百万円

前年同期比 +86百万円

高い財務安全性を継続

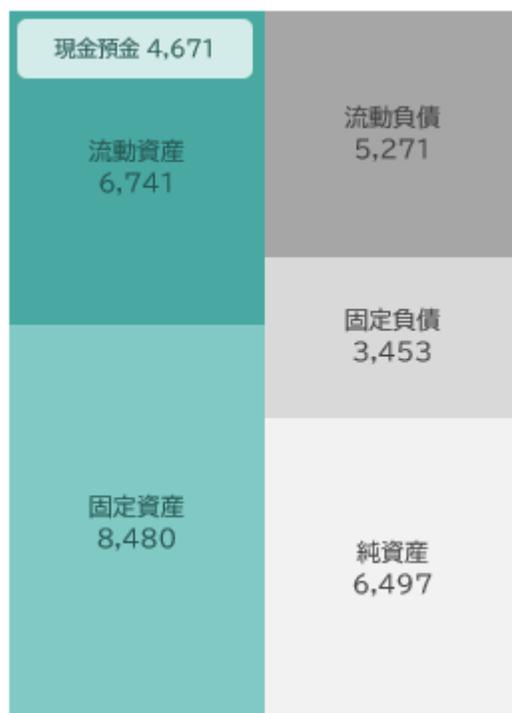
2025年3月末

総資産15,222百万円

自己資本比率42.7%

有利子負債比率70.6%

(百万円)



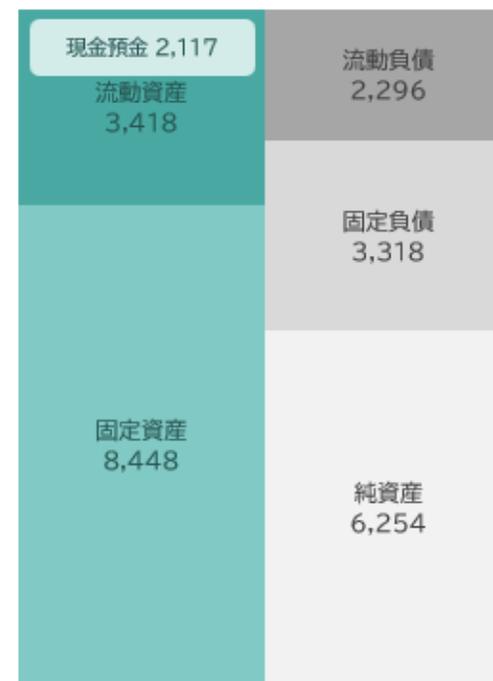
2025年6月末

総資産11,867百万円

自己資本比率52.7%

有利子負債比率41.4%

(百万円)



※有利子負債比率 = (有利子負債 ÷ 純資産) × 100